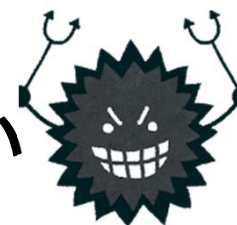


インフルエンザについて



インフルエンザと風邪（普通感冒）の違い



	インフルエンザ	普通感冒
初発症状	発熱、悪寒、頭痛	鼻咽頭の乾燥感・くしゃみ
主な症状	発熱、関節痛	鼻汁、鼻閉
倦怠感	高度	ほとんどない
合併症	気管支炎・インフルエンザ肺炎・脳症	まれ
病原	インフルエンザウイルスA/B	ライノウイルス アデノウイルス コロナウイルス RSウイルス 等



インフルエンザって...



- インフルエンザは常に構造の変化が生じている
(=変異)
- 変異には「連続変異」と「不連続変異」の2種類がある。
- 連続変異は同じ遺伝子型の中で小さな変異を繰り返すこと。
- 不連続変異とは10～40年に1回、ウイルスの病原性や毒性、遺伝子型が全く違うものに置き換わる変異で、これがパンデミック(世界的大流行)につながる。

インフルエンザの予防接種

インフルエンザワクチンって有効なの??

ワクチンとは、接種した際に、人の体の中で感染したような作用を起こし、ウイルスを排除する物質(抗体)づくりだし、病気の発病を予防するもの。



ワクチンを打っても、インフルエンザに感染した!!!

インフルエンザワクチンの有効率は60%と言われています。これは、インフルエンザワクチンを接種しなかった集団が10人インフルエンザに罹患したのに対し、接種した集団では4人しかインフルエンザに罹患しなかった。ということで、10人感染するところを6人減らした...ということで60%の有効率だそうです。なので、インフルエンザワクチンを接種したからと言って、必ず、インフルエンザの感染を防げるわけではありません。

インフルエンザの予防接種

インフルエンザの予防接種の目的は、高齢者や小児等、インフルエンザの感染により重篤化する可能性のある人が重篤化することを防ぐことですが、多くの人に接種して、感染の拡大を防ぐことも重要です。米国ではハイリスク者の周囲の人も「ハイリスク者を感染から守る」という観点から積極的に接種をするように推奨されています。

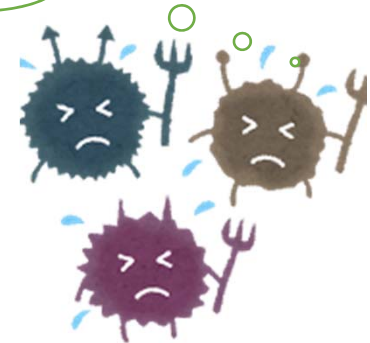


人の体に入れない...

インフルエンザワクチン定期接種対象者

- ・ 65歳以上の高齢者
- ・ 60～64歳で基礎疾患を有する人 等

詳細は医療機関、お住まいの自治体でご確認ください。



インフルエンザ感染を予防するために...

- 流行前(11月～12月)にインフルエンザワクチンを接種。
- インフルエンザが流行し始めたら、人込みや繁華街への外出は控える。
- 外出時はマスクを着用。



インフルエンザ感染を予防するために...

- 十分な休養、バランスの良い食事

日頃からバランスの良い食事と十分な休養を取り、体力や抵抗力を高めることも大切です。



- うがい、手洗いの励行



インフルエンザの検査と治療

【簡便な診断法】

- **迅速診断法**: 鼻やのどからのぬぐい液を採取し、インフルエンザウイルスがいるか15分程度で調べられるキットがある。ウイルス量によっては感染していても、陰性になったり、陽性であってもインフルエンザではない場合もあります。

【治療法】

- **対症療法**: 発熱には解熱剤、鼻水には抗ヒスタミン剤、のどの痛みには消炎鎮痛剤など、それぞれの症状を抑える薬剤を使用する。
- **抗インフルエンザ薬による治療**: 飲み薬、吸入薬、点滴等

